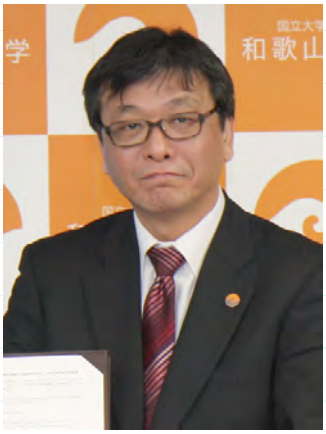
Vol.11

Communication Leaflet

卒業生の皆さんへ



「行く川のながれは絶えずして、しかも本の水にあらず。よどみに浮ぶうたかたは、かつ消えかつ結びて久しくとゞまることなし。」みなさんご存知の鴨長明による方丈記の冒頭です。ここで述べられているように、社会は常に変化し、一見同じに見えるものであってもその中身は全く入れ替わっていることが多々あります。皆様が学部・大学院を卒業され、職場での研鑽を経て新しいスキルを身につけられ、日々ご活躍されているように、システム工学部も日々変化しています。この4年間に、学部ミッションの再定義、学部を5学科から1学科10メジャー制へ変更するなどの学部の根幹に関わる施策の実施と、システム工学部開設 20 年のお祝いという慶事がありました。しばし、この激動の余韻に浸り、ゆっくりとしていたいところですが、社会の激流は新しい問題を大学に投げかけてきています。一つは産業界との連携、もう一つは高大連携の名の下に行われる大学入試改革です。

前者については、新しい産業の創生に繋がる基礎研究、基盤技術の開発など、大学が貢献できることが多数あります。大きなプロジェクトやベンチャーの立ち上げなど規模の大きなものに目が行きがちではありますが、開発上の問題点の解決など小さいところにも大学の活躍の場があると考えております。最も身近な産業人たる皆様が抱える問題など、一度、研究室に戻って聞いてみていただければと考えます。ひょっとすると、そんな連携の中からイノベーションが起こるかもしれません。

大学入試改革については、皆様もご承知の通りセンター試験に変わり、「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」が導入され、大学・学部ごとの個別入試では学部のアドミッションポリシーに即した入試が求められ、平成32年には新しい入試で受験生を選抜することになります。様々な要素を加味し、まさにシステム工学の実践たる入試改革をこれから実施していくことになろうと考えます。

些か課題の羅列になってしまいましたが、卒業生の皆様のご意見もお聞きし、日々変化する社会の中で光るシステム工学部を作り上げるべく、努力してまいりたいと考えます。システム工学部の取組みをご理解いただき、今後ますますの応援をお願いいたします。

システム工学部長　伊東 千尋

教員異動のお知らせ

今年の3月末で環境システム学科の足立啓教授が定年を迎えられました。また、環境システム学科の小川宏樹准教授が徳島大学に転出されました。

一方で、この4月に光メカトロニクス学科に宮崎淳講師と最田裕介助教、環境システム学科に田内裕人助教が着任されました。

TOPICS

ドラマでおなじみの…

ラベルデザイン「幸村出陣」

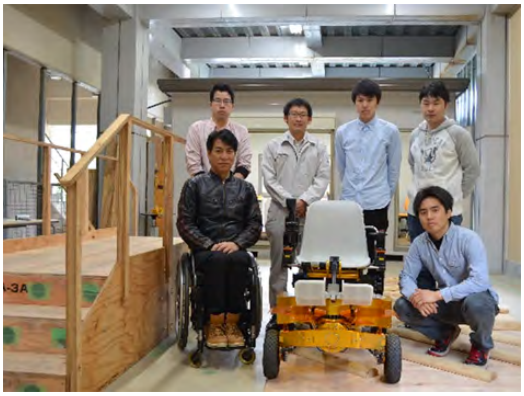
我々、和歌山大学システム工学部デザイン情報学科・原田研究室所属の学生と、有志の学生の計12名は、紀州九度山「真田幸村」由来酒制作実行委員会から依頼を受け、真田幸村由来酒「幸村出陣」と「幸村好」のラベルデザイン制作を担当しました。

デザイン作業では、統計学を用いた既存製品の傾向調査を行ったり、企業の方から実際に販売する目線でのご意見を頂いたりして、よりよいものが作れるよう半年間かけて最終案を作成しました。その結果、真田幸村の勇ましさを感じられるような華やかなラベルが出来ました。また、実際に商品を購入していただいた方からお褒めのお言葉を頂戴したり、テレビやラジオ、また雑誌で取り上げていただいたりしました。

（デザイン情報学科卒　博士前期課程1年　西澤 菜月）

今年、世界に向けて挑戦します！

サイバスロン「RT-Movers」



サイバスロンとは、最先端の技術を駆使して開発された義手、義足、電動車いすなどを用いて、障がいを持った競技者が競い合う大会です。2016年10月にスイスで第一回大会が開かれ、決められたコースでの正確性や速さを競います。世界的に有名なETH Zurichが中心になって企画しており、パワードレッグ部門、パワードアーム部門、ブレイン・コンピューター・インターフェイス部門、外骨格部門、機能的電気刺激バイク部門、電動車いす部門の6種目があります（http://www.cybathlon.ethz.ch/）。
世界から78チームが参加する予定です。

私たち「RT-Movers」は電動車いす部門に参加します。昨年の夏頃から出場するための最新鋭機RT-Mover PType WAを開発し、この大会に向けて着々と準備を進めてきました。大会でPType WAに乗車するパイロットは伊藤智也氏でパラリンピック北京大会の金メダリスト（車いすレースT52部門）です。

我たちの技術を世界に向けて発信し、国際的な連携の機会を得て、世界の平和的な科学技術の発展に貢献したいと考えています。皆様からの暖かいご支援よろしくお願いいたします。

（教授　中嶋 秀朗）

システム工学部 創立20周年記念式典・祝賀会

1996年に産声をあげたシステム工学部も創立20周年を迎え、2015年10月3日(土)に記念式典・祝賀会を開催いたしました。本学部卒業生を始め、多くの来賓の方々や退職された教職員の方など総勢150名を超える皆様にご参加頂き盛大に祝うことができました。

式典開始前から、久しぶりに訪れる大学のあちらこちらで、記念撮影する様子や懐かしい顔に思わず歓声が上がるなど、20周年という時間の重みを感じられるスタートとなりました。

式典ではシステム工学部創設前から期待を寄せ、応援し続けて下さる関係各所の来賓の方からのお言葉を頂き、卒業生として改めて期待に負けない活躍をしようと身が引き締まる思いでした。これからの大学の発展を願い、また今の自分の礎を築いてもらった大学に恩返ししたいと気持ちを新たにする良い機会となりました。

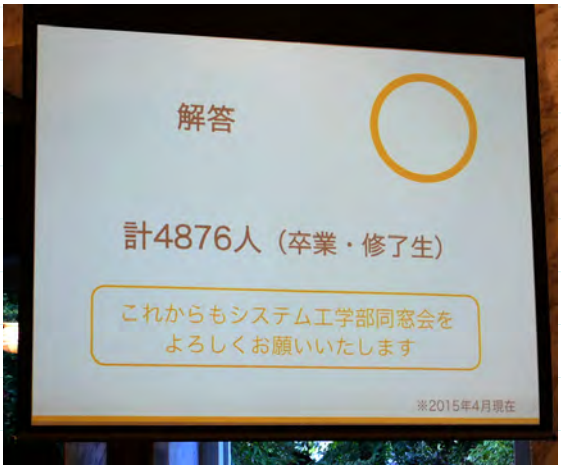
祝賀会は会場を和歌山大学正門すぐのラヴィーナ和歌山に移し、式典とは一転して和やかな雰囲気の中開催しました。限られた時間の中で、来賓の方々を含め皆で楽しめるイベントを、と言うことでシステム工学部や和歌山にちなんだクイズ大会を催しました。このクイズの進行を私が担当したのですが、久しぶりに会う先生や同級生、先輩後輩との話が絶えない中、なかなか1問目を始められない程会場は盛り上がりに包まれていました。

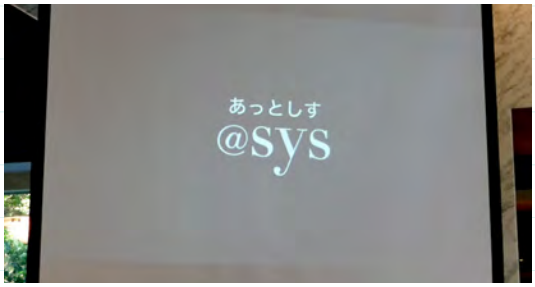
印象深く残っている問題の1つに『システム工学部卒業生、修了生は4000人以上である』というものがありました。

皆さん、答えがわかりますでしょうか？

答えは ○ でした。

20年の時点で4876人、今では5000人を超える方が卒業、修了されています。当初、60人程度の学科3つでスタートした事を思うととても感慨深い数字ですね。今後も素晴らしい後輩をたくさん輩出できる素晴らしい大学に育てていきたいですね。クイズは10問程度でしたが壇上から見える皆さんの笑顔、歓声からとても楽しい時間を共有できたなぁと感じました。





祝賀会の最後には、20周年の節目として募集したシステム工学部同窓会の愛称名の発表を行いました。卒業生・在校生・教職員の皆様から沢山ご応募頂いた中、最終決選投票により、情報通信システム学科7期生安江さんの『@sys』に決定しました。いかにも若いシステム工学部らしいオリジナリティ溢れるネーミングになったと思います。

式典終了後もラヴィーナの中庭で記念写真を撮る姿、名残惜しそうに先生方と話す姿が遅くまで見られました。天気も良く、気持ちの良い時間を過ごすことができました。

同窓会では、節目の大きなイベント以外でも近況報告会やホームカミングデーを開催しています。この時期に和歌山大学近くに来られる予定が入った際は、是非ホームページなどでチェックしてみてぶらっと参加してみてはどうでしょうか。少し懐かしんでまた何か新しいパワーをもらえる、そんな会と仲間が待っています。

また皆様とお会いして楽しく笑い合える日を楽しみにしています。

（光メカトロニクス学科1期生・同窓会理事　山野井 康）

@sys

同窓会よりお知らせ

第6回近況報告会の開催について（ご案内）

昨年は、学部創立20周年の記念の年でありましたので、同窓会により盛大に記念式典を開催させていただきました。卒業生等多数ご参加いただき、盛会に終えることができましたこと、厚くお礼申し上げます。

なお、今年度は平成21年度より開催し好評をいただいています「システム工学部同窓会近況報告会」を下記のとおり開催いたします。

ついては、本学卒業生、修了生及び教職員等の方々はもちろん、在校生および関係者の皆様との交流を活発にしたいと考えていますので、ふるってご参加いただきますようよろしくお願いします。

日時

平成28年11月20日（日）
12:00～（受付開始 11:30～）
※大学祭〔11月19日（土）・20日（日）〕開催期間中

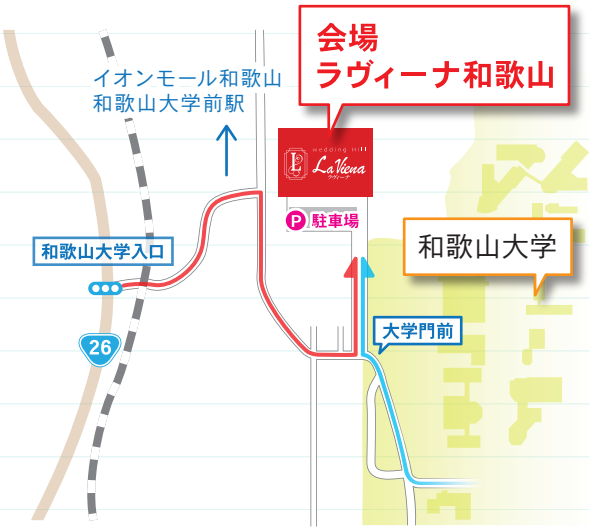
場所

ラヴィーナ和歌山（和歌山大学正門すぐ）

参加申込方法

以下同窓会ホームページWebフォームから
申込みを予定（申込みは8月中旬頃より開始予定）

●和歌山大学システム工学部同窓会
（http://www.wadaisys-dousou.net/）



生涯アカウント（WAON ID）の配布について（未登録の方へ）

2015年度より正式開始しました「生涯アカウントサービス」は、新入生への配布も始まり、卒業生・在校生・教職員合わせて1700名を超える方々にご活用頂いております。
また、特典として容量無制限のクラウドストレージが利用可能であったり、卒業生向け卒業証明書・成績証明書の無料送付などのメンバーサービスもございます。

まだお持ちでない方は、この機会にぜひ登録・ご活用頂きたいと考えていますので、詳細等については下記 URL からご覧ください。

●生涯アカウントポータルサイト（http://g.wakayama-u.jp/）

@sys

Computer and Communication Sciences

情報通信システム学科

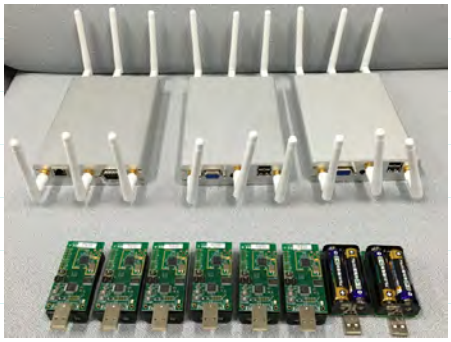
学科長 より

卒業生の皆様、お元気にお過ごしでしょうか？私は、昨年度から学科長の任に就いております。昨年度から、システム工学部の5学科が再編され1学科となり、本学科は、知能情報学とネットワーク情報学の２つのメジャーとなりましたので、知能情報学メジャーの主任の任にも就いております。世間では人工知能ブームです、知能情報学メジャーもこの流れに乗って発展していきたいと考えております。

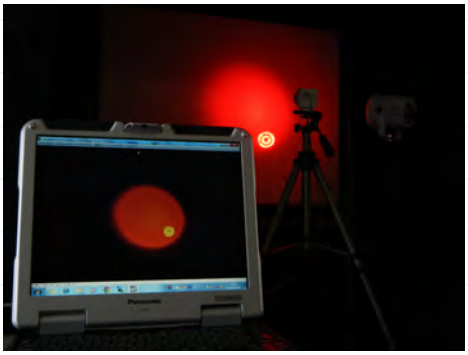
仕事等で関西に来ることがありましたら、ぜひ、新しくなった本学科を訪ねて下さい。また、今後とも皆様からの変わらぬご支援よろしくお願いいたします。（教授　中村 恭之）

吉廣卓哉先生 より

最近は、世界中でモノのインターネット（IoT：Internet of Things）の研究開発が活発になっています。IoTとは、地球上のあらゆる場所に様々なセンサを設置し、それらを無線通信でインターネットに接続することで、離れた場所の状況を自由に知り、便利に利活用する技術です。私の研究室では、IoTのための消費電力がとても低い通信プロトコルを設計して、乾電池で動くセンサ端末に実装したり、データを高速に集める無線インフラ技術を開発してWi-Fi対応のハードウェアに組み込む研究をしています。先日、研究成果を著名な国際会議で発表してきました。今後は開発した仕組みを実際に動かして実用化を目指します。（准教授　吉廣 卓哉）



塚田晃司先生 より

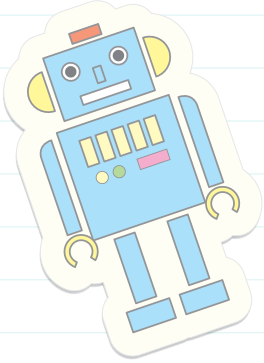


東日本大震災以降、災害時における情報の重要さが再認識されています。私の研究室でも、学生とともに災害時に必要な情報伝達、共有に関する研究に取り組んできました。災害時の通信手段に利用可能な発光色の色変化を用いた可視光通信技術は、８月末に開催されるイノベーション・ジャパン2016に出展いたします。また、最近は、無線ネットワークと微弱ＦＭ放送を連携させ、被災地で必要になる情報をそれを必要とする人たちに的確に伝えるシステムの研究開発に、県内放送事業者と協力して進めています。昨年は南海トラフ地震の被害が予想されている県内沿岸部の自治体、住民の方々の協力のもと実証実験も実施しました。今後も引き続き実利用を想定した研究開発に取り組んでいきます。

■ http://www.wakayama-u.ac.jp/~ktsukada/nslab/

（准教授　塚田 晃司）

Opto - Mechatronics
光メカトロニクス学科



学科長より

卒業生の皆さん、こんにちは。元気でお過ごしでしょうか。今年度より、学科長を務めさせていただいています。既にご存知と思いますが、昨年度より従来の５学科から１学科制となり、当学科は、機械電子制御メジャー、電子計測メジャーの二つのメジャーとなりました。今年４月には、初めてのメジャー学生も配属され、新体制への移行が着々と進んでいます。大学も時代とともに変わっていきますが、時代に即して柔軟に変化しつつも、光メカの良いところを失わないよう、教育、研究を進めていきます。お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。

（教授　長瀬 賢二）

宮崎淳先生着任のあいさつ

今年４月にシステム工学部電子計測メジャーに着任いたしました宮崎淳と申します。私はこれまでにレーザーを使った高空間分解・高感度な顕微イメージング法の開発とバイオイメージングへの応用などに取り組んできました。今後は今までの経験や知識を活かして、より応用範囲を広げて社会の役に立つ研究を進めていきたいと思っています。大学時代は関西で過ごしたのですが、その後東京の大学で勤務した後、再び関西に戻ってきました。以前は大学の研究センターに所属していたので、現在の若い学生がたくさんいる環境はとても新鮮です。今後ともよろしくお願いいたします。

（講師　宮崎 淳）

最田裕介先生着任のあいさつ

2011年３月に本学大学院博士前期課程を修了しました、光メカトロニクス学科10期生の最田と申します。その後、民間企業で約２年勤め、2013年より再び和歌山大学において研究専任教員としてお世話になっておりましたが、本年４月１日に電子計測メジャーの助教として着任しました。現在は、情報フォトニクス研究室(野村研究室)において、光情報処理や光応用計測に関する研究をおこなっております。当研究室に所属する学生への研究指導や学部学生への講義など、まだまだ慣れない仕事に戸惑いも感じておりますが、これまでの研究や企業での業務で得た経験を活かし、少しでも母校の発展に寄与できるよう、研究活動や学生教育に邁進していきたいと意気込んでおります。

（助教　最田 裕介）

Material Science and Chemistry

精密物質学科

学科長より

卒業生の皆さん、お元気ですか。精密物質学科の教職員は、全員元気で教育研究に励んでいます。この10月から化学メジャーに新任の先生が加わる予定です。ご承知のようにシステム工学部は1学科制に変わり、学生は2年次より10メジャーを選択して分属されます。当学科から派生した「応用物理学」と「化学」の両メジャーは、残念ながら希望者殺到とは言えないようです。しかしこの両分野の重要性／必要性については、卒業生の皆さんのご活躍がそれを実証していると思います。もし大学の近くに来られる機会がございましたら、ぜひお立ち寄りください。

（教授　篠塚 雄三）

宇野和行先生より

本年度から応用物理学メジャーとしての講義がスタートして、「物性電磁気学Ⅰ」（前期）と「固体物理学」（後期）の2つの講義を担当しています。精密物質学科として入試を行っていた頃は、高等学校で物理を習っていないという学生がそれなりにいましたが、メジャー制になってからはほとんど物理を履修しており、様変わりしています。

研究のほうは、ミストCVD法という、水溶液を超音波噴霧してドライミスト化して結晶成長する手法を用い、酸化物半導体や硫化物半導体の薄膜を作製しています。水溶液からでも硫化物ができるのです。ミストCVD法はさまざまな材料を探索するのに向いていますので、なかなか楽しい手法です。

（准教授　宇野 和行）

奥野恒久先生より

構造有機化学グループの奥野です。和歌山大学に着任した当時は30歳だったのですが、もう50歳になろうとしています。さて、平成23年度から大須賀先生と力を合わせて研究会を開催しています。現在は、有機エレクトロニクス研究会という名称となり、有機化合物を素子化してできる、ありとあらゆるもの（有機太陽電池や有機ELなど）について、年に4回、外部から講師を招き、依頼講演と意見交換を行っています。近い分野で開発を行っている人がいたら、是非とも参加してください。私自身も素子内で使えるナノワイヤを作製しようと研究を進めていますが、ようやく実用化レベルのナノワイヤ材料ができたところです。

（准教授　奥野 恒久）

Environmental Systems

環境システム学科

学科長より

卒業生の皆さん、こんにちは。本年度学科長の江種です。学科の近況ですが、システム工学部設立当初に赴任され、建築計画分野の教育と研究に携われてきた足立啓先生がこの春に退職されました。また、2011年度に赴任されて以来4年間に渡って都市計画分野の教育と研究に携われてきた小川宏樹先生が、この春に徳島大学大学院理工学研究部社会基盤デザイン系に転出されました。環境計画大講座や環境デザイングループの卒業生の皆さんは、設計製図や環境システム演習（環境デザイン演習）などの演習科目をはじめとした両先生の授業がなつかしいのではないでしょうか。

一方、出て行く人がいれば、やって来る人がいるというのが組織であり、この春、田内裕人先生が助教として赴任されました。田内先生は土木工学がご専門で、これからは約10年前に宇民正先生がご退職されて以降手薄になっていた防災分野の教育・研究を中心にご活躍いただくことを期待しています。

システム工学部が出来て20年が経過し、1学科10メジャー制という新しい体制に生まれ変わるだけでなく、教員の顔ぶれも大きく変わりました。しかし、環境システム学科自体は現３年生が卒業するまでの２年間は存続しますし、新体制になってからも環境システム分野を中心に、環境化学や災害科学など幅広い分野の教育と研究を進めていきますので、今後とも皆様の変わらぬご支援をよろしくお願いします。

（教授　江種 伸之）

田内裕人先生着任のあいさつ

和歌山大学システム工学部卒業生の皆様、はじめまして。今年度4月から環境システム学科にやってまいりました田内裕人と申します。出身は神奈川県であり、関西での生活は初めてで不慣れなことも多いですが、先生方・学生のみなさまに助けていただきながら日々新鮮な気持ちで研究させていただいております。私の専門は土木工学であり、今までは洪水に関する研究を行ってきました。和歌山大学では、洪水に加えて土砂災害・豪雨災害を主軸としながら、水・防災にかかわるさまざまな問題を幅広く研究対象としてゆくつもりです。災害への備えの重要性が叫ばれる今日、災害・防災の研究を通して社会へ貢献することを目指しておりますので、是非ともよろしくお願い致します。

（助教　田内 裕人）

足立啓先生の近況報告

20年前、シス工の1期生入学と同時に私も赴任し、今年3月に定年退職しました。お陰様で充実した和大生活を過ごさせて頂き感謝しています。3月5日の最終講義には全国各地で活躍中の1期生から16期生まで多くの卒業生が参加してくれ、中には家族連れも相当数あり和気あいあいとした会になり、何よりも嬉しい思い出となりました。20年間で蓄積した多くの著書・報告書の約半分は廃棄処分にし、不可欠の段ボール20箱分だけを自宅に送りました。それでも社会科学の貴重な文献も多く残ったため思案していたところ、縁あって北海道の社会福祉法人がダンボール50箱分を引きとり、当地の高齢者複合施設内に「足立啓文庫」を創設してくれました。羊蹄山を望む洞爺湖に近い美しい場所にあります。一般開放ゆえ北海道旅行の折にぜひ訪ねて下さい。（今春、社会人で博士号（工学）を取得した大久保さんが理事長の施設です）

私は時間に余裕ができたので、自宅書斎の改修や資料整理などに精を出していますが、それ以外は学会の理事活動、自治体の審議会、幾つかの大学等で非常勤講師など、適当に忙しく過ごしています。今後は外部からシステム工学部の益々の発展を期待するサポーターです。

小川宏樹先生の近況報告

徳島生まれで過去に助手を勤めていた縁で、4月より徳島大学理工学部に異動し、新設された社会基盤デザインコースに建築計画研究室を立ち上げました。初仕事は、4月14日、16日に発生した熊本地震の現地調査で、発災直後から益城町や南阿蘇村に出向き、木造住宅の被害やその後の復旧過程の調査を行っています。気がつけば、世間の私に対する印象は、和歌山ではリノベーションや空き家問題を研究しているまちづくりの先生であったのが、徳島では木造住宅の耐震設計や耐震診断・耐震改修の先生になっていました。

思えば20年前、徳島に建築を学べる学科が無かったため郷里を離れた私が、時は巡って徳島大学で建築教育に携わることになりました。都市計画から建築計画まで、学生時代からこれまでの職場で学んだ経験を活かし、建築教育後発組の徳島で、これからの時代の地方都市に求められる新たな教育と研究のテーマに日々チャレンジしていきたいと思います。

Design and Information Sciences

デザイン情報学科

学科長より

卒業生の皆様、ご活躍のことと存じます。１学科制になり、デザイン情報は今年度、３、４年生だけになりました。２年生は春にメジャーが決まり、今年度から、デザイン情報学科と、メディアデザイン・社会情報学メジャーの混在体制になっています。卒業生の皆様の作り上げたデザイン情報の伝統を、３、４年生に伝えつつ、新メジャーではそれらをどう発展させていくか挑戦が続きます。和歌山にお越しの折には、研究室にも立ち寄って後輩を応援してください。　（教授　今井 敏行）

メディアデザインメジャー懇親会

メジャー新入生の懇親会・歓迎会

昨年度からDIP(Design Information Party)はなくなってしまいましたが、今年度は2年生を各メジャーに迎え入れ、歓迎会（懇親会）として復活しました。

メディアデザインメジャーは4月12日に懇親会として実施しました。教員と学生の自己紹介が中心でしたが、２年生ですので、入学前だけでなく、入学後の話も聞けました。今後はDIPの伝統を受け継いで、学生企画もやってみたいと考えています。

社会情報学メジャー歓迎会

社会情報学メジャーは、4月4日に、配属された新2年生の歓迎会を催しました。上級生による研究紹介デモのあと、ゲームなどもまじえて親睦を深め、伊藤先生おすすめのケーキを賞味しながら、社会情報学メジャーのめざすところを思うままに話し合いました。

ソフトウェアコンテストで優勝と準優勝

ソフトウェアコンテスト『OGIS-RI Software Challenge Award 2015』において、デザイン情報学科のソフトウェアデザイン研究室とコミュニケーションデザイン研究室の４年生で構成するチームが『優勝』、デザインシステム計画研究室３年生で構成するチームが『準優勝』いたしました！

このコンテストでは「時を○○するソフトウェアコンテスト」と題して作品募集され、約40件の応募の中から2回の書類審査を通過した6作品6チームが本選に参加し、各作品のプレゼン発表と審査員との質疑応答が行われました。その結果、見事、デザイン情報のチームがワンツーフィニッシュしました！

平成27年度 就職先

学部

(株)IAO竹田設計、(株)アイティフォー、(株)アイレップ、(株)朝日工業社、旭工精(株)、アプライアンス&デジタルソリューション(株)、(株)イシダ、(株)インテック、(株)エーアイネット・テクノロジ、(株)ACN、AJS(株)、SCSK(株)、エスペック(株)、(株)エスユーエス、NECソリューションイノベータ(株)、NCS&A(株)、NTN(株)、(株)エヌ・ティ・ティ　ネオメイト、大阪市、大阪府、(株)オージス総研、(株)大塚商会、(株)大林組、(株)オービック、(株)カプコン、(株)ガリバーインターナショナル、関電システムソリューションズ(株)、(株)木の家専門店　谷口工務店、(株)キャットアイ、(有)キャピタルエンタープライズ、紀陽情報システム(株)、近畿管区警察局、(株)クラックスシステム、(株)経営情報センター、(株)ケイ・オプティコム、(株)鴻池組、国土交通省近畿地方整備局、(株)小松製作所、(株)サイバーリンクス、堺市、堺市消防局、三晃金属工業(株)、(株)Sunborn、(株)シー・エス・イー、(株)システムリサーチ、(株)島精機製作所、ショーボンド建設(株)、シンエイ動画(株)、新日本法規出版(株)、進和鉄工(株)、吹田市、Sky(株)、住友林業ホームテック(株)、セキスイハイム東四国(株)、積和建設阪和(株)、(株)ゼロ、センターフィールド(株)、セントラルデザイン(株)、(株)壮栄社、綜合警備保障(株)、(株)ソフトウェア・サービス、ダイキン工業(株)、ダイダン(株)、太陽工業(株)、大和ハウス工業(株)、大和リース(株)、高砂熱学工業(株)、(株)タカショー、タカラスタンダード(株)、(株)たけびし、WDBエウレカ(株)、(株)中央電機計器製作所、通菱テクニカ(株)、T&D情報システム(株)、(株)テー・オー・ダブリュー、寺内(株)、(株)傳設計、東洋検査工業(株)、(株)トキワ、鳥取県、トヨタホーム(株)、(株)トラスト・テック、トランスコスモス(株)、長住建設(株)、(株)なんつね、西日本電信電話(株)、西松建設(株)、日本インフォメーション(株)、(株)日本電気化学工業所、日本ピラー工業(株)、日本郵便(株)、(株)ニフコ、ニプロ(株)、(株)長谷工コーポレーション、パナソニックシステムネットワークス(株)、阪神高速技研(株)、BTD　STUDIO(株)、東日本高速道路(株)、(株)肥後銀行、(株)ファーストシステム、フォワード・インテグレーション・システム・サービス(株)、(株)フジキン、(株)フジコー、富士ソフト(株)、(株)富士通システムズ・ウエスト、富士通テンテクノロジ(株)、(株)フリーセル、(株)ぽけかる倶楽部、(株)マスダシステム開発、(株)マックス、三菱電機エンジニアリング(株)、三菱電機メカトロニクスソフトウエア(株)、(株)Minoriソリューションズ、Meiji Seika ファルマ(株)、モラブ阪神工業(株)、モリ工業(株)、ヤフー(株)、(株)山田建築構造事務所、(株)ユーシン精機、UTテクノロジー(株)、淀川変圧器(株)、(株)ローズバッド、(株)ワークスアプリケーションズ、和歌山県、和歌山県警察、和歌山県農業協同組合連合会、和歌山市

博士前期

(株)IIJグローバルソリューションズ、(株)アイ・エフ建築設計研究所、愛知時計電機(株)、(株)浅野歯車工作所、アドソル日進(株)、(株)アドックインターナショナル、(株)イシダ、(株)インテック、ウィツ(株)、エコガス(株)、SCSK(株)、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)、エヌ・ティ・ティ・コムウェア(株)、(株)NTTファシリティーズ関西、(株)NTTフィールドテクノ、エムオーテックス(株)、大阪富士工業(株)、(株)大林組、(株)OKIソフトウェア、(株)小野測器、オムロンアミューズメント(株)、紀州技研工業(株)、紀陽情報システム(株)、京セラドキュメントソリューションズ(株)、近畿管区警察局、(株)きんでん、(株)ケイ・オプティコム、小西化学工業(株)、(株)コロプラ、(一財)雑賀技術研究所、(株)Cygames、(株)サイバーリンクス、堺市、(株)ザクティ、(株)三社電機製作所、(株)シー・エス・イー、(株)JR西日本コミュニケーションズ、(株)システムアンサー、(株)島津製作所、ジャパンメディアシステム(株)、昭和化学工業(株)、神鋼検査サービス(株)、(株)新日鉄住金ソリューションズ、(株)SCREENホールディングス、スズキ(株)、住友重機械工業(株)、セイコーエプソン(株)、センターフィールド(株)、象印マホービン(株)、大成建設(株)、大日本印刷(株)、大和ハウス工業(株)、WDBエウレカ(株)、(株)ちくま精機、中央コンピューター(株)、つくば市、(株)椿本チエイン、東京エレクトロン(株)、東陽建設工機(株)、(株)十川ゴム、(株)栃本天海堂、凸版印刷(株)、ナブテスコ(株)、南海電気鉄道(株)、日亜化学工業(株)、日工(株)、日鉄住金テックスエンジ(株)、(株)日本政策金融公庫、日本テクニカルシステム(株)、日本電子(株)、日本アイビーエム中国ソリューション(株)、(株)日本データコントロール、日本電産(株)、(株)長谷工コーポレーション、パナソニック(株)、パナソニックアドバンストテクノロジー(株)、パナソニックエクセルテクノロジー(株)、バルトソフトウェア(株)、日立オートモティブシステムズ(株)、(株)日立システムズ、日立造船(株)、(株)日立ソリューションズ、(株)日立ビルシステム、(株)日比谷コンピュータシステム、(株)ファインドスター、(株)富士通マーケティング、(株)富士通ミッションクリティカルシステムズ、(株)ミツトヨ、三菱電機(株)、三菱電機インフォメーションネットワーク(株)、三菱電機エンジニアリング(株)、三菱電機メカトロニクスソフトウエア(株)、ミナト医科学(株)、ヤフー(株)、リコージャパン(株)、(株)菱友システムズ、(株)レイトロン、和歌山県、(株)和歌山県農協電算センター、和歌山石油精製(株)

ご案内

住所等連絡先、勤務先、氏名の変更等ありましたら、
「同窓会ホームページ」→「連絡先変更」からご連絡ください。

システム工学部 同窓会ホームページ
● http://www.wadaisys-dousou.net/

和歌山大学システム工学部同窓会　検索

連絡先

和歌山大学システム工学部／システム工学部同窓会
〒640-8510　和歌山県和歌山市栄谷930
● T E L : 073-457-8021
● E-mail : alumni.sys@g.wakayama-u.jp
● U R L : http://www.wadaisys-dousou.net/

編集

和歌山大学 システム工学部／システム工学部同窓会
和歌山大学 システム工学部 教育・研究・技術支援室